

英語教育センターの学習効果

樟蔭学園英語教育センター
コーディネーター 山岡 賢三

1. はじめに

筆者が所属する樟蔭学園英語教育センター（以下 ELTC）は、英語の中高大一貫教育を実施し、学生・生徒の英語力の向上に寄与することを目標に、平成 21 年に設立された英語学習施設である。そこには様々な英語関係の図書や教材・DVD、自学自習ができるパソコンブースがある。ネイティブが常駐していつでも英会話ができる。そこに来れば、学生・生徒たちが自主的に、または偶発的に学習意欲を喚起し、自らの英語力を向上させることができる。

研究の目的として、ELTC のような学校の授業以外の自主学習施設が生徒の英語学習に大きな効果をもたらすことを明らかにしたい。研究方法としては、平成 23 年度～26 年度の施設利用者中から施設を大いに利用した生徒を対象に、追跡調査し、テストの結果を比較・分析する。研究の結果として、追跡調査した生徒がなぜ成績を伸ばしたのか考察する。

2. GTEC スコアの分析

2.1 平成 23 年度入学生徒

平成 23 年度入学生徒の中で特によく ELTC を利用した児童教育コースの生徒 A, B, C, D, E の 5 名の追跡調査を行った⁽¹⁾。

表 1 では、対象生徒の第 20 回 (H23.11.24)、第 21 回 (H24.6.15) の GTEC (Benesse Corporation による英語力を絶対評価で測るテスト) のスコアを比較している。対象生徒は平成 23 年 10 月頃から頻繁に ELTC を利用するようになったので、第 20 回のデータから使用した。「児」は児童教育コースクラス 28 名の平均を表し、「進」は進学コース全員 180 名の平均を表す。

表1 * () 内は順位

生徒	第20回(H23.11.24実施)				第21回(H24.6.15実施)				伸び (21回-20回)
	Total	Reading	Listening	Writing	Total	Reading	Listening	Writing	
A	420	170	150	100	579 ⁽¹⁾	243	215	121	159 ⁽¹⁾
B	291	86	115	90	429	156	158	112	135 ⁽²⁾
C	261	72	89	100	357	127	114	116	96 ⁽⁹⁾
D	294	100	94	100	363	130	117	116	69
E	318	120	111	87	381	124	156	101	63
児	294	94	107	92	337	117	128	92	43
進	265	90	103	72	310	114	120	76	45

表1を見ると、第21回GTECテストでは、樟蔭高校2年生のGTEC(Basic)を受験した250名(特進クラスを含む人数)の中で生徒Aは1位であったことがわかる。また、特筆すべき点は、対象生徒5名のうち3名が伸び率10位の中に入っているということである。他の2名も60点以上も得点を伸ばしている。特にリスニングではどの生徒も著しい伸びが見られた。

表2

生徒	第23回(H25.6.13実施)				伸び (23回-20回)
	Total	Reading	Listening	Writing	
A	580	225	232	123	160
B	464	196	173	95	173
C	363	124	143	96	102
D	430	143	173	114	136
E	464	169	186	109	146
児	358	130	139	88	64
進	322	125	127	70	57

表2は第23回(H25.6.13)の対象生徒及び、児童教育コースと進学コース全体の平均スコアを示し、表1の第20回のスコアと比較し、その伸びを調べた。表2を見ると、2年近く英語教育センターに頻繁に通った対象生徒は、進学コース全体の平均の伸びは57点、児童教育コース64点に対し、100点以上GTECの成績を伸ばしたことがわかる。

2.2 平成24年度入学生徒

続いて、平成24年度入学生徒の中で特によくELTCを利用した生徒F, G, H, I, Jの5名の追跡調査を行った。

表3では、対象生徒及び進学コースの第21回(H24.6.15)、第25回(H26.6.16)のGTECのスコアを比較している。対象生徒は平成24年入学当初から頻繁にELTCを利用していたので、第21回のデータから使用する。「進」は進学コース全体196名の生徒の平均を表す。

表3

生徒	第21回(H24.6.15実施)				第25回(H26.6.16実施)				伸び (25回-21回)
	Total	Reading	Listening	Writing	Total	Reading	Listening	Writing	
F	191	78	113	0	503	168	219	116	312
G	353	116	151	86	587	221	236	130	234
H	348	130	121	97	516	195	205	116	168
I	236	89	108	39	339	138	104	97	103
J	275	84	107	84	374	137	142	95	99
進	275	110	90	75	345	128	134	83	70

表3を見ると、2年間英語教育センターに頻繁に通った対象生徒は、進学コース全体の平均の伸びは70点に対し、全員99点以上成績を伸ばしたことがわかる。生徒Fに至っては312点という驚異的な伸びを示している。

3. GTEC スコアの考察

3.1 リーディング力の伸び

樟蔭高校では進学コースにおいて「英語多読」に取り組んでいる。ELTCでは「多読」の教材を多く揃え、授業外でも「多読」ができるようにしている。対象生徒は授業の延長上にある多読教材に多く触れ、自然にリーディングの力を伸ばしたように考えられる。

3.2 リスニング力の伸び

対象生徒がリスニング力を伸ばした理由としては、音読トレーニングを毎回自主的に取り組んだことが考えられる。CDのネイティブスピーカーの音読に合わせて、シャドーイングやリピート&ルックアップの練習を繰り返すことによって、リズムやイントネーションを頭や体に刻みながら、自然なネイティブの英語の音を多少なりとも身につけたようだ。つまり、「口に出せる英語は聞き取れる」ということを体得したと考えられる。

3.3 ライティング力の伸び

ネイティブとのフリートークで、自分の持っている英語力を駆使して、何かを説明したり、自分の意見を述べたりする経験を通して、ライティングでは多少の間違いを恐れず、英語で表現しようという意欲が出てきたと考えられる。

4. 学習意欲の向上

4.1 自主的な学習

生徒に英語力をつけさせるためには、「①英語を好きにさせる ②英語にたくさん触れさせる ③飽きずに反復させる ④継続して学習する習慣をつけさせる」ことが大切である。「好きこそものの上手なれ」という言葉があるが、まずは英語を好きにさせることである。好きになれば、自ら英語にたくさん触れるし、飽きずに反復できる。継続して学習するようになる。ELTCには英語が好きになる環境（教材・設備・人材）が揃っている。その環境をそれぞれの生徒のレベルや興味に合わせて、いかに提供してやるかは、ELTC スタッフの腕の見せ所である。スタッフの適切なアドバイスや指導、励ましがいまよくいけば、生徒の学習意欲が向上し、自主的な学習につながる。

田尻は、生徒が自主的に学習する条件として、「①やり方が分かる ②力がつく活動・学習だと認める ③面白い ④上達を感じられる」を挙げている⁽²⁾。例えば、① ELTC スタッフの指示に従ってシャドーイングのやり方を学ぶ。効果的なシャドーイングのやり方がわかる。② ELTC の音読教材を使ってシャドーイングの練習をする。英文が上手に読めるようになり、力がつく学習だと認める。③授業中「発音が上手になったね」と先生にほめられて嬉しい。ネイティブと会話をして自分の英語が通じて面白い。④英検に合格したり TOEIC や GTEC の成績が伸び上達を感じる。このような過程を経て対象生徒の自主的な学習意欲が向上したと考えられる。

4.2 「学習意欲に関する調査研究」⁽³⁾ による考察

「学習意欲に関する調査研究」によれば、高校生が勉強に対する気持ちが「とてもやる気になる」と非常に肯定的な答えを得られたのは、「成績が上がったとき」「授業がおもしろいとき」「授業がよく分かるとき」だけではなく、「先生にほめられたとき」「自然にふれる体験をしたとき」「ライバルが見つかったとき」「友だちからはげまされたとき」「級や段、資格などを取ろうと思ったとき」などである。さらに、高校生の特徴として、「将来行きたい学校がはっきりと決まったとき」「将来つきたい職業に関心を持ったとき」が突出していると述べている。

この調査研究の結果を本研究の対象生徒に当てはめれば、ELTC には、「先生やスタッフがそれぞれの生徒の上達をほめてくれる」「英語に自然にふれる体験ができる」「同じ英語学習を目標とするライバルを見つけることができる」「そのライバルともはげましあう仲間になれる」「英検や TOEIC などの資格を取るために学習できる」「外国語系の大学を目指す」「将来、英語などの外国語を使う職業に関心を持つ」といった環境が整っているといえる。

5. まとめ

対象生徒は約 2 年の間に 60 日～120 日 ELTC に通っている。なぜ彼女たちは頻繁に ELTC に通ったのか？「英語が元々好きだから」「英語ができるから」。一概にこの答えは当てはまらない。対象生徒の中には ELTC に来る前から英語が得意だったわけでもなく、好きでもなかった生徒もいる。

English Camp や海外研修をきっかけに英語学習に目覚めた生徒、映画が好きで ELTC に通っているうちに他の学習や活動に興味を持った生徒、カッコいい外国人の先生と英会話をしたいと思って ELTC にやって来た生徒、授業の課題をこなすために ELTC にやって来て知らない間に ELTC の環境にどっぷり浸かってしまった生徒、等、ELTC に通うようになった理由は様々である。ただ、一応に言えることは、どの生徒にも強制的に英語学習を押しつけていない、生徒が自主的に学習しているということである。

樟蔭学園の中・高・大学生の自主性を育て、英語を好きにさせること、そのことが英語教育センターの最大の使命であると信じる。

【注】

- (1) 山岡賢三「潜在的カリキュラムとしての英語教育センター」樟蔭学園英語教育センターフォーラム第2号 2013年
- (2) 田尻悟郎「(英語) 授業改革論」教育出版 2009年
- (3) 富岡賢治(国立教育政策研究所代表)「学習意欲に関する調査研究」(文部科学省委託研究) 学習意欲研究会 2002年